



つながりあう未来のために、今できること

# Now ing.

株主通信 | 2010年春夏号

2009年度営業利益は過去最高を更新  
好調な業績を受け、増配を実施  
「ソフトバンク電波改善宣言」を発表

ソフトバンク株式会社  
[www.softbank.co.jp](http://www.softbank.co.jp)

証券コード：9984

# ソフトバンクの「今」、 その最前線をお届けします。

ソフトバンクは経営理念の実現に向け、  
さまざまな取り組みに挑戦しています。  
本誌では 2009 年度の決算報告とともに、  
ソフトバンクの「今」を株主の皆さまへお届けします。

「ソフトバンクグループ経営理念」  
デジタル情報革命を通じて、  
人々が知恵と知識を共有することを推進し、  
企業価値の最大化を実現するとともに  
人類と社会に貢献する

ソフトバンクは2010年6月25日の  
新30年ビジョン発表会において、  
「**新30年ビジョン**」を発表しました。  
その模様については、  
当社ウェブサイト([www.softbank.co.jp/vision/](http://www.softbank.co.jp/vision/))  
よりご覧いただけます。

## 目次

1	株主の皆さまへ
2	report 1.2009年度の決算報告
3	report 2.モバイルインターネット戦略(1)
4	report 3.モバイルインターネット戦略(2)
5	Q & A
6	特集「今」ソフトバンクが取り組んでいること
6	1.「ソフトバンク電波改善宣言」でもっとつながる未来へ
8	2.誰でもライブ中継が可能な「ユーストリーム」
8	3.中国最大級のSNSを運営するOPIの顧客基盤が拡大
9	4.ソフトバンクモバイル 2010年 夏モデルラインナップを発表
10	連結業績ハイライト
12	連結財務諸表
14	セグメント別営業概況
16	CSR活動
17	会社概要

第30回定時株主総会決議ご通知 当社第30回定時株主総会が、下記のとおり開催されました。

- 1. 日時…… 平成22年6月25日(金曜日)午前10時
  - 2. 場所…… 東京都千代田区丸の内三丁目5番1号 東京国際フォーラム ホールA
  - 3. 内容…… 報告事項
    - 1. 第30期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)事業報告、  
連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
    - 2. 第30期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)計算書類報告の件  
本件は、上記の内容について報告いたしました。
- 決議事項  
議案 剰余金の処分の件  
本件は、原案のとおり承認可決され、剰余金の配当は1株につき5円と決定いたしました。



株主の皆さまへ

# Now *try* ing.

おかげさまでソフトバンクは  
2009年度も営業最高益を更新することができました。  
しかし、ここで満足することなく、  
モバイルインターネット時代の  
「ライフスタイル・カンパニー」として、  
未来を見据えた新たな展開により企業価値を高め、  
皆さまのご期待にこたえていきます。

ソフトバンク株式会社 代表取締役社長

孫 正義



もはや情報発信は、一方向のものではなく、インターネットの活用によって多くの人々が同時に参加でき、互いに意見を言え、質問ができる、そういう時代がきたのではないかと思います。その中で、いつでも、どこでも、誰でも情報を受発信できるモバイルインターネットの重要性はますます高まっています。ソフトバンクグループはこのような時代を見据え、移動体通信事業に参入し、さまざまな取り組みを行ってきました。その結果、2009年度の連結業績は移動体通信事業のけん引により、営業最高益<sup>※1</sup>を更新しました。また、すべての事業セグメントで増益を達成し、フリー・キャッシュ・フロー<sup>※23</sup>、908億円を創出しました。その結果、有利子負債<sup>※3</sup>の削減が進み、2014年度末までに純有利子負債<sup>※4</sup>ゼロを達成する自信を深めています。この好業績を受けて、2010年度は、過去最大の4,000億円の設備投資<sup>※5</sup>を計画しています。

営業利益4658億円。  
過去最高の  
数字であります

### ■2009年度 8つの「過去最高」を達成

連結業績		(前期比)
□ EBITDA <sup>※6</sup>	5期連続 過去最高 <sup>※1</sup>	+16%
□ 営業利益	5期連続 過去最高 <sup>※1</sup>	+30%
□ 経常利益	過去最高 <sup>※1</sup>	+51%
□ 営業キャッシュ・フロー	2期連続 過去最高 <sup>※1</sup>	+49%
□ フリー・キャッシュ・フロー	過去最高 <sup>※1</sup>	+115%
主要事業の営業利益		
□ 移動体通信事業	過去最高 <sup>※7</sup>	+52%
□ 固定事業 <sup>※8</sup>	4期連続 過去最高 <sup>※9</sup>	+8%
□ インターネット・カルチャー事業	10期連続 過去最高 <sup>※10</sup>	+8%

※1. 当社が連結決算を開始した1994年度以降。 ※2. フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー。 ※3. 有利子負債＝短期借入金＋コマーシャルペーパー＋1年内償還予定の社債＋社債＋長期借入金。リース債務を除く。ポードフォン日本法人の買収に伴う事業証券化(Whole Business Securitization)スキームにおいて発行された社債(銘柄：J-WBS Funding K.K. Notes due 2019、発行体：J-WBS ファンディング(株))のうち、当社が2009年度に取得した額面270億円を除く。 ※4. 純有利子負債＝有利子負債－手元流動性。手元流動性＝現金及び預金＋流動資産に含まれる有価証券。 ※5. 設備投資は検収ベース。 ※6. EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却額＋営業費用に含まれる固定資産除却損。 ※7. 当社が移動体通信事業セグメントを設置した2006年度以降。 ※8. 固定事業＝ブロードバンド・インフラ事業＋固定通信事業。 ※9. 当社がブロードバンド・インフラ事業セグメントを設置した2001年度以降。 ※10. 当社がインターネット・カルチャー事業セグメントを設置した1999年度以降。

**な** ぜこのタイミングで積極的な設備投資を行うのか？ その理由はどこでも、すばやく欲しい情報が手に入るモバイルインターネット時代を見据えているからです。例えば、旅行の際も高機能

より、ネットワーク上の情報量は急激に増加することが予想されています。

このように増加する情報量を効率的に処理し、快適な通信サービスを提供するために、ソフトバンク

グループは携帯電話ネットワークの転換を進めていきます。

それは、1つの基地局

## 「攻め」の経営に転じていきたい

携帯電話に搭載されているGPS(全地球測位システム)機能と電子地図で、現在地を確認しながら迷わず目的地に向かうことが一般的になりつつあります。携帯電話で本や雑誌を読むことが一般化し、大量の書類をモバイルインターネットで好きなときに取り出せる時代がやってきます。このようなモバイルインターネットがもたらすライフスタイルの変化に

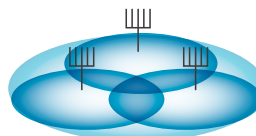
で広い範囲をカバーする従来の「マクロセル」型から、同じ範囲を複数の基地局で細かくカバーする「マイクロセル」型へ携帯電話ネットワークを転換していくということです。ソフトバンクグループは今後のライフスタイルの変化を見越し、2010年度は過去最大の設備投資により“攻め”の経営を行いたいと考えています。

### モバイルインターネット時代に適した携帯電話ネットワークの構築



【マクロセル】

1つの基地局で広くカバー



【マイクロセル】

複数の基地局で細かくカバー





いつでもどこでも、すばやく情報が受発信できるモバイルインターネット時代において、どのようなサービスが人々のライフスタイルを変化させていくのか。ソフトバンクグループは、モバイルインターネットを通して人々が感動を共有できるサービスとして2つのサービスに注目しています。1つ目は、140文字のつぶやき(ツイート)でいま起きたこと、感じたことをリアルタイムで共有することができる「ツイッター」です。2010年夏モデルの携帯電話では、「ツイッター」を手軽に楽しむことのできるアプリケーションをあらかじめ携帯電話に搭載するなど、新しいコミュニケーションを推進しています。2つ目は、iPhone™やAndroid™(アンドロイド)搭載の高機能携帯電話から、誰でも簡単

## 「モバイルインターネットを制する者がインターネットを制する」

にライブ中継が可能になる「ユーストリーム」です。ソフトバンクグループは、「ユーストリーム」を運営する米Ustream, Inc.に戦略的投資を行い、共にアジア展開を図るための合弁会社USTREAM Asiaを設立することで合意しました。また、このようなモバイルインターネットサービスを楽しむために適した携帯電話を積極的に提供するほか、2010年5月28日には多機能情報端末であるApple社製iPad™の提供を開始しました。ソフトバンクグループはモバイルインターネットを活用した新しいライフスタイルの提案により、企業価値の最大化を目指すとともに、「モバイルインターネットを制する者がインターネットを制する」という信念の下、これからも挑戦を続けていきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

用語解説

Android(アンドロイド)

米インターネット検索大手グーグルが開発した、携帯端末用基本ソフト。





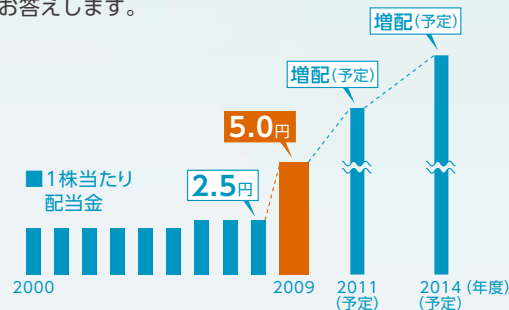
## Q &amp; A

このページでは、株主の皆さまからのご質問にお答えします。



**Q** 過去最高益の達成だが、株主への配当はどうなるのか？

**A** 2009年度の配当は2008年度の倍額となる1株当たり5円の配当を実施します。今後の配当に対する考え方としては、純有利子負債の削減に合わせてさらなる増配を予定しています。具体的には、2011年度末までに純有利子負債を約1.9兆円(2008年度末時点)から半減(予定)



させ、2014年度末までにゼロ(予定)とすることを目標としており、その達成状況に合わせて段階的な増配を予定しています。

ソフトバンクグループは、純有利子負債の削減に向け、キャッシュ・フロー経営を推し進めていくとともに、適正な株主還元に努めていきます。



**Q** 株主優待が受けられるのは携帯電話やブロードバンドサービスだけなのか？

**A** 2010年6月26日から、株主の皆さまに実施する株主優待において、「iPad (Wi-Fi+3Gモデル)」、「モバイルデータ通信端末(Pocket WiFiなど)」、「PhotoVision」の新規契約に対しても優待を適用します。これはツイッターで寄せられた株主の皆さまのご要望におこたえしたものです。

**用語解説** モバイルデータ通信端末

パソコンなどを接続し、インターネットやメールの送受信などができる携帯可能な端末のこと。

**用語解説** PhotoVision (フォトビジョン)

携帯電話からメールで送った写真を再生して楽しめる通信機能付きデジタルフォトフレーム。



Pocket WiFi



PhotoVision



# 1 「ソフトバンク電波改善宣言」

## 基地局倍増&小型基地局 無償提供を発表!

2010年3月28日、ソフトバンクモバイルは携帯電話が繋がらないエリアを減らすための具体策として、「ソフトバンク電波改善宣言」を打ち出しました。基地局の倍増と家庭や店舗などへのフェムトセル小型基地局の提供によって、電波状況を大幅に改善し、さらに店舗へのWi-Fiルーターの無償提供によって高速通信が可能となる環境を整えていきます。

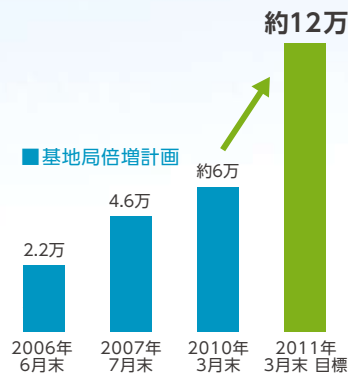
ソフトバンクではこの宣言の下、お客さまからの携帯電話が繋がらないといったご要望にこたえるべく、グループを挙げて取り組みを進めていきます。



### 宣言1 基地局を倍増!

携帯電話の基地局を、2011年3月末までに現状の約6万局から約12万局に増やします。

場所の確保、低コストでの機器の設置、機器サイズの小形化といった、基地局の設置に伴う条件を整え、今後スピーディーな基地局展開を進めていきます。



2011年3月末までに  
倍増<sup>\*</sup>へ

※ ホームアンテナ、ホームアンテナFT除く。







# でもっとつながる未来へ。

## 宣言2・3 小型基地局（ホームアンテナFT）を無償提供※！

携帯電話が繋がらない家庭には、無償でフェムトセル小型基地局「ホームアンテナFT」を提供します。また、店舗にも無償で店舗用フェムトセル小型基地局を提供します。



### ホームアンテナFT

家庭や店舗などのブロードバンド回線に接続して携帯電話の電波を発信する小型基地局。  
※ブロードバンド回線をお持ちでない方には専用ADSLサービスも併せて無償で提供します。

## 宣言4 Wi-Fiルーターを無償提供※！

高速通信が可能なモバイルインターネット環境を希望される企業や店舗には、固定ブロードバンド回線に接続し、高速無線通信を可能にするWi-Fiルーターを無償で提供します。



※ブロードバンド回線をお持ちでない方には専用ADSLサービスも併せて無償で提供します。

## モバイルインターネット時代を見据えて

ソフトバンクが今このような取り組みを始めたのは、どこでもすばやく欲しい情報が手に入るモバイルインターネット時代を見据えているからです。時代に合うネットワークのあり方を考え、積極的に推進していく。「ソフトバンク電波改善宣言」は、そのための1つの取り組みなのです。

今回の「ソフトバンク電波改善宣言」は「ツイッター」で寄せられたご要望から始まりました。多くの人から寄せられた、携帯電話をもっとつながりやすくしてほしいというご要望にこたえるための取り組みを進めていきます。

「ホームアンテナFT」「Wi-Fiルーター」  
のお申し込みはこちらへ

携帯電話／  
固定電話から

**0800-888-7777**

(通話料無料)

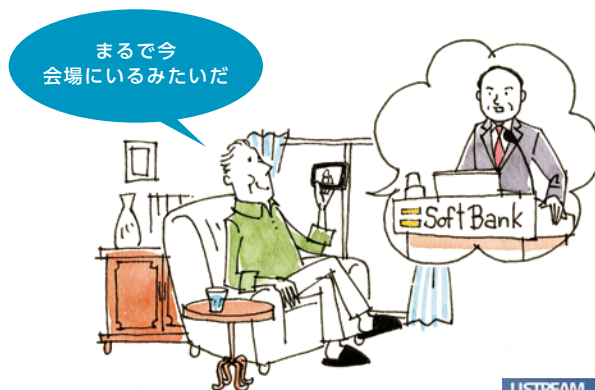
受付時間9:00~20:00(年中無休)

詳しくは▶<http://mb.softbank.jp/mb/special/network/pc/>



## 2 決算説明会をライブ中継 誰でもライブ中継が可能な 「ユーストリーム」

「ユーストリーム」はPCや高性能携帯電話から、誰でも簡単にライブ中継が可能になる次世代のインターネットサービスです。ソフトバンクは「ユーストリーム」を運営する米Ustream, Inc.に戦略的投資を行っており、そのサービスの利用を促進しています。2010年3月期 第3四半期決算説明会より、「ユーストリーム」を活用して決算説明会の模様をライブ中継しており、投資家の皆さまへの多様な開示手段の拡充に努めるとともに、サービス利用の促進を図りました。そのほか、2010年4月27日より日本語版サイトを開設し、その運営と今後のアジアにおける事業展開を図るため、2010年5月18日にUSTREAM Asiaをソフトバンクグループと米Ustream, Inc.が共同で設立することに合意しました。アジアにおけるライブ中継のプラットフォームとしての地位を確立し、企業価値の向上を図るとともに、新しいライフスタイルを提案していきます。



### 用語解説

### ユーストリーム

PCや高性能携帯電話で、誰でも美しいライブ動画を配信・視聴できるサービス。映画や音楽、スポーツ関連映像など幅広いコンテンツを配信している。



## 3 アジア展開がますます加速! 中国最大級のSNSを

ソフトバンクグループは、中国最大級のSNS「人人(レンレン)」などを運営するOPIに出資しています。「人人」は、日記や写真、ゲームなどを通して、人と人がつながり合うことを促進するインターネットサービスであり、顧客基盤を急速

# 4 今話題の「ツイッター」が簡単に使える! ソフトバンクモバイル 2010年 夏モデル ラインナップを発表

ソフトバンクモバイルの2010年夏モデルのテーマは「ツイッター」。全14機種に「ツイッター」が簡単に使えるアプリケーションを搭載し、携帯電話で「ツイッター」をより快適に楽しめるサービスを開始しました。これによりモバイルインターネットで世界中の人と「今」の出来事を共有する新しいコミュニケーションを推進していきます。

## ■ ツイッター対応ケータイ



©創通・サンライズ



(ツイッター利用イメージ)

## 運営するOPI\*の顧客基盤が拡大

に拡大しています。ソフトバンクグループは、「アジアNo.1インターネットカンパニー」を目指し、事業提携などにより、より豊かなライフスタイルの実現を追求していきます。

\* Oak Pacific Interactive : オーク・パシフィック・インタラクティブ。

**renren + Kaixin.com** 开心网

ユーザー数は **1.3億人** を突破!

(2010年3月末現在)

(出所) オーク・パシフィック・インタラクティブ

用語解説 SNS

SNS=ソーシャル・ネットワーキング・サービス。インターネット上で社会的ネットワーク・コミュニティの構築ができるサービス。

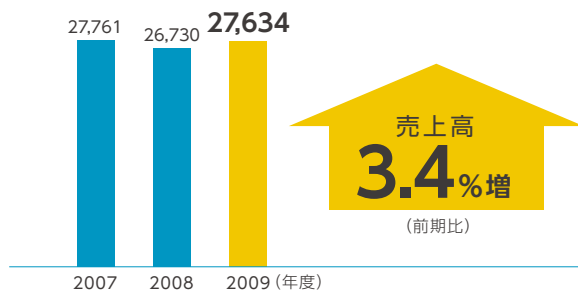
たくさんの人と  
つながり合えるのね



## 連結業績 ハイライト

中核事業である通信関連事業の好調な推移により、  
営業利益などが過去最高<sup>\*</sup>を更新しました。

### ■売上高 (単位: 億円)

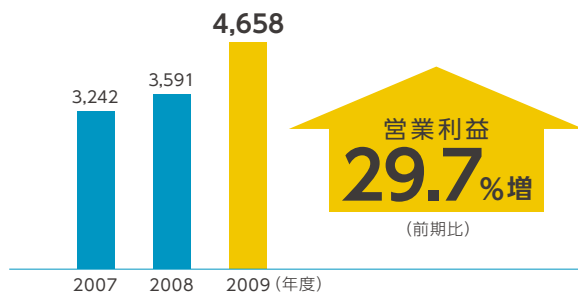


### 移動体通信事業の 好調により増加

売上高は2兆7,634億円となり、2008年度(2008年4月～2009年3月)と比較して3.4%増加しました。これは主に、携帯電話契約数と携帯電話端末の出荷台数<sup>\*</sup>の増加により、移動体通信事業の売上高が増加したことによるものです。

<sup>\*</sup>販売代理店への出荷(販売)台数。

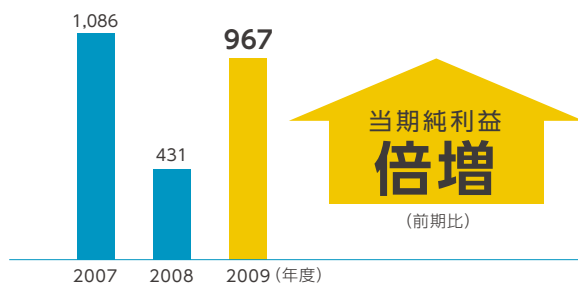
### ■営業利益 (単位: 億円)



### 5期連続の営業最高益<sup>\*</sup>を更新

移動体通信事業の好調な業績が増収増益をけん引したほか、全セグメントで増益となり、営業利益は2008年度(2008年4月～2009年3月)と比較して29.7%増加しました。

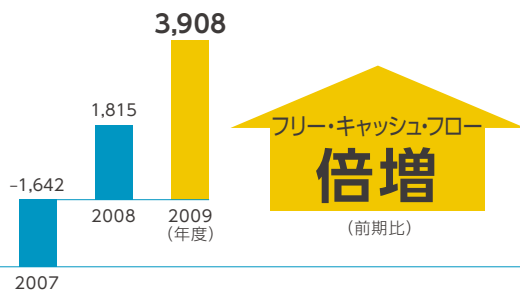
### ■当期純利益 (単位: 億円)



### 当期純利益が倍増

当期純利益は2008年度(2008年4月～2009年3月)と比較して倍増となる967億円を達成しました。

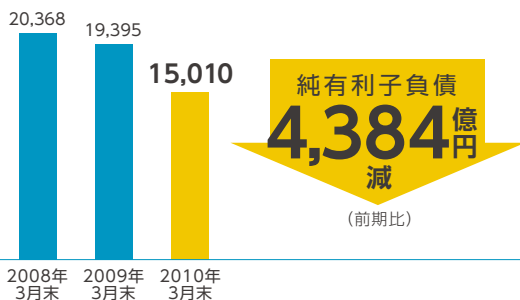
## ■フリー・キャッシュ・フロー (単位: 億円)



## 前期比倍増で過去最高★を更新

営業活動によるキャッシュ・フローの2期連続での過去最高★更新を受け、フリー・キャッシュ・フローも3,908億円と過去最高★を更新しました。

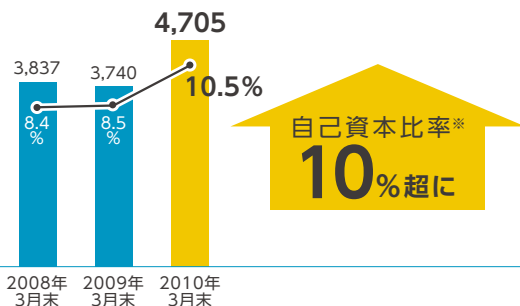
## ■純有利子負債 (単位: 億円)



## 純有利子負債の削減が加速

2009年度に創出したフリー・キャッシュ・フローの大部分を有利子負債の返済に充当した結果、2008年度末(2009年3月末)から純有利子負債を4,384億円削減しました。

## ■自己資本/自己資本比率 (単位: 億円/%)



## 4年ぶりに10%超に

自己資本は2008年度末(2009年3月末)から964億円増加し、4,705億円となりました。自己資本比率はボーダフォン日本法人買収以来4年ぶりに10%超となりました。

※ 自己資本比率=自己資本÷総資産。

★ 当社が連結決算を開始した1994年度以降。

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表 (単位：億円) / 前期末(2009年3月31日現在) / 当期末(2010年3月31日現在)

資産の部	前期末	当期末
<b>流動資産</b>	<b>15,203</b>	<b>16,944</b>
・現金及び預金	4,579	6,900
・受取手形及び売掛金	8,580	8,165
・有価証券	29	43
・商品及び製品	423	370
・繰延税金資産	930	742
・その他	1,148	1,067
・貸倒引当金	△488	△345
<b>固定資産</b>	<b>28,650</b>	<b>27,664</b>
・有形固定資産	10,009	9,507
・無形固定資産	12,221	11,523
・投資その他の資産	6,419	6,633
<b>繰延資産</b>	<b>13</b>	<b>19</b>
<b>資産合計</b>	<b>43,866</b>	<b>44,628</b>

### ※1. 短期借入金

前期比1,375億円の減少。

短期借入金の一部について長期借入金や社債へのリファイナンスを進めたことによるものです。

### ※2. 社債

前期比1,239億円の増加。

これは主に全4回の無担保普通社債★を発行したことによるものです。

★ 第27回、第28回、第29回および第30回無担保普通社債。

### ※3. 長期借入金

前期比1,547億円の減少。

これは主にソフトバンクモバイルがSBMローン★を返済したことによるものです。

★ ポーダフォン日本法人の買収のために調達した資金を、

2006年11月に事業証券化(Whole Business Securitization)の手法によりリファイナンスしたものの。

負債の部
<b>流動負債</b>
・支払手形及び買掛金
・短期借入金 ※1
・1年内償還予定の社債
・未払金及び未払費用
・未払法人税等
・リース債務
・その他
<b>固定負債</b>
・社債 ※2
・長期借入金 ※3
・繰延税金負債
・退職給付引当金
・ポイント引当金
・リース債務
・その他
<b>負債合計</b>
<b>純資産の部</b>
<b>株主資本</b>
・資本金
・資本剰余金
・利益剰余金
・自己株式
<b>評価・換算差額等</b>
・その他有価証券評価差額金
・繰延ヘッジ損益
・為替換算調整勘定
<b>新株予約権</b>
<b>少数株主持分</b>
<b>純資産合計</b>
<b>負債純資産合計</b>



(単位：億円)

前期(2008年4月1日～2009年3月31日)

当期(2009年4月1日～2010年3月31日)

## ■連結損益計算書

前期末	当期末
13,495	13,788
1,603	1,589
5,755	4,379
640	544
3,521	4,514
213	1,004
882	1,097
879	659
22,122	21,200
3,245	4,485
14,362	12,815
287	304
160	155
418	472
2,333	2,244
1,314	721
35,618	34,989

前期末	当期末
3,481	4,446
1,876	1,887
2,119	2,130
△512	430
△2	△2
258	258
313	438
251	145
△305	△325
2	4
4,504	4,929
8,247	9,639
43,866	44,628

	前期	当期
売上高	26,730	27,634
・売上原価	13,659	13,265
・売上総利益	13,071	14,368
・販売費及び一般管理費	9,480	9,709
営業利益	3,591	4,658
・営業外収益	130	93
・営業外費用	1,464	1,341
経常利益	2,256	3,409
・特別利益	112	66
・特別損失	1,295	584
税金等調整前当期純利益	1,073	2,892
・法人税、住民税及び事業税	393	1,178
・法人税等調整額	△196	266
・少数株主利益	444	479
当期純利益	431	967

(単位：億円)

前期(2008年4月1日～2009年3月31日)

当期(2009年4月1日～2010年3月31日)

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

	前期	当期
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,478	6,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,662	△2,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,103	△1,595
現金及び現金同等物の期末残高	4,576	6,876

## セグメント別 営業概況

幅広く展開する事業で販売やコスト面での相乗効果を創出。  
営業利益の増加が続いています。

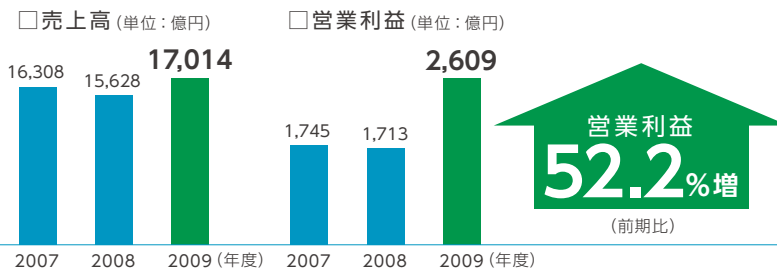


### 移動体通信事業

- ・携帯電話サービス
- ・携帯電話端末の販売

携帯電話契約数の増加に伴い  
過去最高益\*

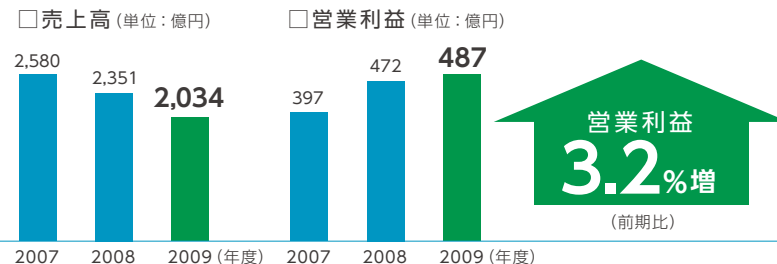
\* 当社が移動体通信事業セグメントを設置した  
2006年度以降。



### ブロードバンド・ インフラ事業

- ・ブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」
- ・IP電話サービス

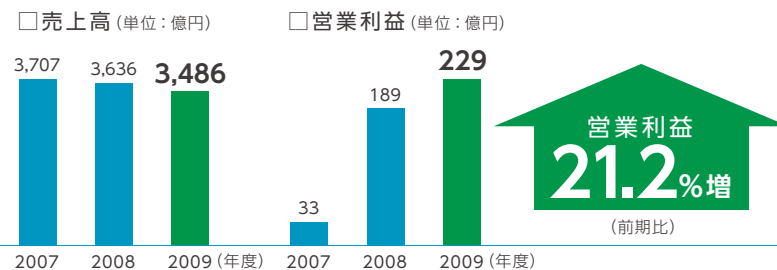
経営の効率化により増益



### 固定通信事業

- ・「おとくライン」を中心とした  
固定通信サービスの提供

利益率の高いサービスの  
回線数の増加により  
黒字幅が拡大



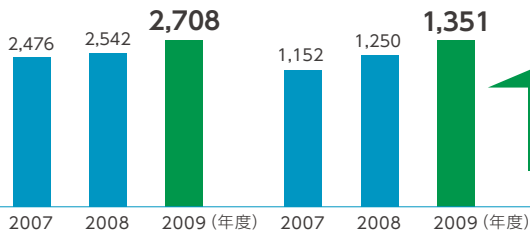
## インターネット・カルチャー事業

- ・インターネット上の広告
- ・ポータルサイト「Yahoo! JAPAN」の運営
- ・「Yahoo!ショッピング」などの電子商取引

営業利益が  
10期連続過去最高\*を更新

\* 当社がインターネット・カルチャー事業セグメントを設置した1999年度以降。

□ 売上高 (単位: 億円)      □ 営業利益 (単位: 億円)

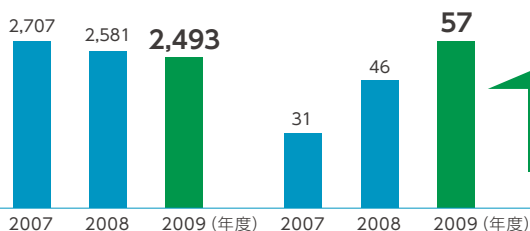


## イーコマース事業

- ・パソコン向けソフトウェアやハードウェアなどの流通
- ・電子商取引関連サービス

法人向け売り上げの減少の影響を  
電子商取引関連サービスの  
好業績が上回った結果、増益

□ 売上高 (単位: 億円)      □ 営業利益 (単位: 億円)

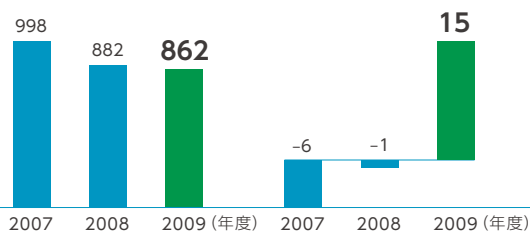


## etc その他の事業

- ・テクノロジー・サービス事業
- ・メディア・マーケティング事業
- ・海外ファンド事業
- ・その他

幅広い分野で事業を展開

□ 売上高 (単位: 億円)      □ 営業損益 (単位: 億円)



ソフトバンクグループはあすのインターネット社会に向けて、事業を通じた社会への貢献を積極的に推進しています。

## ツイッターで寄せられた ご要望にこたえて。

ソフトバンクでは、  
ツイッターで寄せられたご要望を  
「やりましょうリスト」にまとめ、  
企業活動に生かしています。

### 1 「ハートフレンド割引」がさらに充実

ソフトバンクモバイルでは、ツイッターで寄せられたご要望にこたえて、障がいや特定疾患をお持ちの方々を対象とした「ハートフレンド割引」を、2010年6月1日より「ホワイトプラン」「ホワイトプラン(i)」にも拡充しました。これにより、「ハートフレンド割引」がiPhoneでも適用となり、基本料無料でご利用いただけるようになりました。

ホワイトプランの基本料  
**無料**

パケットし放題・  
パケットし放題 for スマートフォン  
下限0円から利用可能

TVコールの国内通信料  
半額で利用可能

### 2 ハイチ大地震などの被災地への支援活動

ハイチ大地震などの被災地の救援と復興支援のため、ヤフーでは「Yahoo!ボランティア」内の「インターネット募金」のウェブサイトにて、募金の受け付けを行いました。また、ソフトバンクモバイルでは、「携帯電話ならもっと募金しやすくなる」というツイッターで寄せられたご要望にこたえて、チャリティダイヤルによる通話料の募金や、デジタルコンテンツ（携帯電話の待受画面）の購入による募金ができる仕組みを提供しました。

チャリティダイヤルで  
音声メッセージを聞く

デジタルコンテンツ  
(携帯電話の待受画面)  
を購入する

通話料やご購入金額が  
すべて募金に！

みんな、仲間だ



これからもソフトバンクグループは、  
皆さまのご要望を企業活動に生かし、  
事業を通じた社会への貢献に取り組んでいきます。

# 会社概要

(2010年3月末現在)

## ■ 社名(商号)

ソフトバンク株式会社  
(英文社名)SOFTBANK CORP.

## ■ 設立年月日

1981(昭和56)年9月3日

## ■ 本社所在地

東京都港区東新橋1-9-1

## ■ 資本金

1,887億5,078万円

## ■ 株式数

発行可能株式総数 3,600,000,000株  
発行済株式総数 1,082,503,878株

## ■ 株主数

316,746名

## ■ 連結子会社数

109社

## ■ 持分法適用会社数

64社

## ■ 従業員数

148人(連結ベース21,885人)

## ■ 事業内容

純粹持ち株会社

## ■ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

## ■ 取締役および監査役

### □ 代表取締役社長

孫 正義

### □ 取締役

宮内 謙

笠井 和彦

井上 雅博

ヤフー株式会社 代表取締役社長

ロナルド・フィッシャー

Director and President, SOFTBANK Holdings Inc.

ユン・マー

Chairman and CEO, Alibaba Group Holding Limited

柳井 正 (社外取締役)

株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長

村井 純 (社外取締役)

慶應義塾大学 環境情報学部長・教授

マーク・シュワルツ (社外取締役)

Chairman, MissionPoint Capital Partners, LLC

### □ 常勤監査役

佐野 光生

### □ 監査役

宇野 総一郎 (社外監査役)

弁護士

柴山 高一 (社外監査役)

公認会計士・税理士

窪川 秀一 (社外監査役)

公認会計士・税理士

## メールでもお知らせ。

ソフトバンクの「今」がわかる  
メールマガジン  
ソフトバンクニュース

ソフトバンクグループの取り組みや決算情報、現場の社員による  
注目事業の紹介などを、ご登録いただいたメールアドレスに月1回お届けしています。

[お申し込みはこちら](http://www.softbank.co.jp/mail/) [www.softbank.co.jp/mail/](http://www.softbank.co.jp/mail/)

## 株主メモ

- **事業年度** ..... 4月1日から翌年3月31日まで
- **期末配当金受領株主確定日** ... 3月31日
- **定時株主総会** ..... 毎年6月
- **株主名簿管理人** / ..... 三菱UFJ信託銀行株式会社  
**特別口座の口座管理機関** (連絡先) 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11  
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
- **上場証券取引所** ..... 東京証券取引所 市場第一部
- **証券コード** ..... 9984
- **公告の方法** ..... 電子公告により行う  
公告掲載URL: [www.softbank.co.jp/kokoku/](http://www.softbank.co.jp/kokoku/)  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)
- **株券電子化によるご注意** .....
  1. 株券電子化に伴い、住所変更や買い取り請求、その他の手続きは、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることになっています。株式に関する各種手続きについては、口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きについては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっていますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店でもお取り扱い致します。
  3. 未受領の配当金については、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いします。

Ⅰ **免責事項** | 本誌に掲載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本誌に掲載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

- 本誌に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
  - ・ Apple、Appleのロゴは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。
  - ・ iPhoneはApple Inc.の商標です。
  - ・ iPadはApple Inc.の登録商標です。
  - ・ iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
  - ・ Androidは、Google Inc.の登録商標です。
  - ・ TwitterおよびTwitterロゴは、アメリカ合衆国また他国々におけるTwitter, Inc.の登録商標です。
- 本誌の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。
- 本誌に掲載されている携帯電話の画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。
- 本誌に掲載したサービス内容および製品の仕様・性能・デザインは、予告なく変更する場合があります。

## ソフトバンク株式会社

〒105-7303 東京都港区東新橋1-9-1

TEL: 03-6889-2000 E-mail: [sb@softbank.co.jp](mailto:sb@softbank.co.jp) [www.softbank.co.jp](http://www.softbank.co.jp)



再生紙と植物性大豆油インキを使用しています。